

2022-23年度RIテーマ
IMAGINE ROTARY
イマジン ローターリー



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	板場 英行	会計	土伏 英晴	直前会長	福本 博之
会長エレクト	宮本 和彦	副会計	野田 眞治	管理運営	久藤 孝仁
幹事	木村 安伸	S A A	宇都宮勝博	会員組織	堀越 賢二
副幹事	中川 康子	副S A A	三好 静子	奉仕	吉本きよ子

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com

例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 1月19日

誕生祝・各会員各記念日祝
米山奨学生卓話

次週のプログラム 1月26日

中間決算報告
クラブアッセンブリー

【2022年12月15日 第2757回例会記録】

【2023年 1月12日 第2758回例会記録】

各会員各記念日（1月）

□配偶者誕生日 福本 博之 宇都宮 勝博
□事業所創立 福本 博之

12月15日第2757回

□点 鐘
□ロータリーソング：我等の生業
□4つのテスト（宮本和彦会員）
□会員数：14名 □免除者：1名
□出席者：7名 □欠席者：3名
□メイク：3名 □出席率：76.92%

幹事報告

【幹事 木村 安伸】

- ・竹原青年会議所新春互礼会
2023年1月7日(土)ホテル大広苑
- ・第13期RLI-2710パート1ご案内
2023年1月29日(日)広島YMCA国際センター

会長の時間

【会長 板場 英行】

会員の皆さんこんにちは。12月の中旬となり年末の慌ただしい年の瀬です。本格的な冬将軍の到来となりましたが、会員各位体調不良などなくご清祥のことと思います。日本国民を熱狂の渦に巻き込んだワールドカップ2022カタール大会、今朝準決勝が行われ、19日の決勝戦は前回の優勝国フラ

ンスと36年振り3回目の優勝を狙うアルゼンチンとなりました。FIFAランキング3位と4位の対決、真の世界一を決める熱い戦いが予想されます。政局では、防衛増税に関する議論が伯仲しています。今朝の新聞では、防衛目的税創設、所得税1%増額が報じられていました。防衛力強化は「国民の責任」という岸田総理の発言がネット炎上しています。先週取り上げました「今年の漢字」12日に発表されました。清水寺貫主により「戦」の漢字が揮毫されました。22万通を超える応募の中で10804票（4.83%）を集め、2001年以来の2度目の第一位です。ウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、サッカーW杯、北京冬季五輪、野球界での熱い戦いを今年の漢字として挙げた結果です。参考までに2位「安」、3位「楽」、4位「高」、5位「争」でした。

月日の経過早いもので本年最終例会となりました。月第3回目の会長の時間ですので、自己の職業的スキルをテーマとして説明します。今年の自己業務の中心は翻訳作業でした。Anatomy Trainsという世界各国で統合的ボディワークの講演や実技指導を行っているトーマス・W・マイヤース氏による膜と筋膜のネットワークを通して、姿勢や動作の安定と適切な運動の遂行がどのように得られるかを解明する書籍の翻訳を手がけました。Anatomy Trainsは従来の解剖学を改変するものではなく、身体の安定を維持し、緊張を分散させる筋膜経線（筋のつながり）を基盤としています。身体の筋は膜を介して連続しており、姿勢異常や動作障害の治療と改善を行ううえで、筋と膜の機能を連続・統合的にとらえることがAnatomy Trainsの着眼点です。Anatomy Trainsの考えを用いることで、身

前期総括

体運動や効率的活動を妨げている要因を包括的に理解することができ、筋膜経線の一部に歪みや癒着などによる膜・筋膜の異常があれば、その影響が身体の他部位に波及し、徴候として現われない「沈黙の」原因や全身的代償不全を呈する問題点の探索と対応が必要となります。例えば、アキレス腱の断裂や膝関節の靭帯損傷後に発現した腰痛、横隔膜や斜角筋の機能不全による頸部の痛みなど、原因解明と治療対応に難渋する臨床課題の解決につながります。専門的で理解しにくい面がありますが、次年度以降、機会があれば具体的な内容に関する説明ができれば幸いです。

委員会報告

□次年度幹事 宇都宮 勝博
2023-24年度理事役員の皆様をご紹介します。

会 長	宮本 和彦
会長エレクト	宇都宮 勝博
直前会長	板場 英行
幹 事	宇都宮 勝博
S A A	三好 静子
会 計	土伏 英晴
理 事	久藤 孝仁
	堀越 賢二
	吉本 きよ子



会長 板場 英行
歳月の経過早いもので本年最終例会で年度の前期総括となりました。

ジェニファー・ジョーンズ2022-23年度RI会長テーマ「imagine rotaryイマジンロータリー」として世界にもたらず変化を想像

しその実現のためにロータリアンとして行動する力、そして第2710地区石川良興ガバナー信条「人生100年時代に向けて、健康寿命を伸ばそう」に基づく重点運営方針のもと、7月から12月までの6ヶ月間クラブ活動を行って参りました。年度の前期総括ということで、クラブ活動計画書のP20, P21を参考に説明を加えます。

本年7月から12月までの例会は、祝日での例会取り消しの多い11月以外は月3回で計17回の開催でした。コロナ禍による過去2年に較べ例会開催は順調に推移しました。月初めの会員誕生日・各記念日祝いと理事会の定例運用以外のこの半年間の主要内容を振り返りますと、8月25日：尾道東RC歌島氏による外部卓話「口元四方山話」。9月1日：吉田大造G9ガバナー補佐のプレ公式訪問。9月14日：石川良興地区ガバナー公式訪問（広島空港RCとの合同開催）。財政面での指摘が多かった印象ですが、本クラブの実情を報告し解決策のヒントを享受しました。10月15, 16日：山口県周南市での地区大会。3年ぶりの会員参集型で1400名を超える地区会員が集い交流しました。地区大会における佐渡会員と大森会員の永年表彰、中川会員のガバナー補佐業務完遂功労賞受賞は、本クラブにとって大変喜ばしいものでした。10月27日：月見例会で久しぶりの懇親例会。11月年次総会では難渋の上次年度役員が選出され、次年度船出の準備が完了しました。12月8日：忘年例会。コロナ感染第8波の影響により昼間の懇親会なしでの開催。

例会を中心としたクラブ運用でクラブ単位での奉仕活動なし。その意味では目標の60%達成率ですが、誕生日該当会員の卓話、久藤会員によるDEI卓話、米山奨学生丁さんの支援をはじめ、個人レベルでの各種奉仕活動は会員各位実践されたことと思います。2023年1月以降の下半期では、生活習慣病予防など卓話の充実、3クラブ合同例会、IM参加による他クラブとの親睦促進を図りたい。また、クラブの抜本的な変革を基に最大目標である会員増強に向け具体的取り組みを行いたい。会員各位のご協力、ご理解、ご支援をお願いします。

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- ゲスト：米山奨学生 丁 若沼様
- 会員数：14名 □免除者：1名
- 出席者：8名 □欠席者：4名
- メイク：1名 □出席率：71.43%

幹事報告

【幹事 木村 安伸】

- ・ロータリーレート1月 1\$132円
- ・ロータリー財団勉強会ご案内
- 日時 1月15日(日)
- 場所 ホテルグランヴィア広島
- 宮本会長エレクト出席

〈お知らせ〉

丁さんより新年のご挨拶で皆様にお菓子頂きました。ありがとうございます。

会長の時間



【会長 板場 英行】

2023年、令和5年が明け最初の例会です。新年明けましておめでとうございます。皆様、健やかで幸多い新年をお迎えのことと拝察します。本年は

ウサギ年ですので、健康専一で、個人、組織として飛躍、向上する健全健勝、生活安穩、飛躍成長の良き年にしたいものです。逆に、値上げ、増税がうさぎ飛びのように跳ね上がることは是非とも回避したいです。昨年末からの新型コロナウイルス感染第8波が深刻です。広島県内感染者8000名超え3日連続、竹原市最大感染者数79名に達し、本日の東京都1万3千名、全国で18万人と報じられています。海外からのインバウンド増と国内移動を含めた経済活動の活性化による感染拡大が懸念されます。4月以降感染症第2類から第5類への変更により、病根の終息、通常的生活活動へ方向転換されることを期待したいです。

年始めの会長の時間は、「葵卯みずのと・う」「鳶目兎耳えんもく・とじ」「地の時代から風の時代へ転換」をキーワードとして言葉を述べます。干支は一般的に十二支で表現されますが、正しくは数字の1から10を示す十干との組み合わせからなります。2023年は、十二支4番目の「卯・う」と十干の最後である「葵・みずのと」の組み

合わせで、「葵卯みずのと・う」と記名されます。

「葵みずのと」は十干の最後の気であり、古い者を整理して次へ進むという意味を持ちます。2023年の「葵卯みずのと・う」は、これまでの努力が花開き実り始める、また水を濾過してきれいな飲み水を作るというイメージが含まれます。2022年の「壬寅みずのえ・とら」が一文字漢字「戦」に象徴される海や大河の激しいうねり（ロシアによるウクライナ侵攻、世界各地での気象異常、深刻な水害と干ばつなど）が特徴でした。まさに「藪の中から虎がガツ！と勢いよく飛び出してきた混沌を彷彿する年でした。2023年はそこから本当に大切な者、必要な者を濾過して平和、安定、安穩を取り戻す年としたいものです。

卯（ウサギ）は穏やかで温厚な性格「家内安全」とともにその跳躍する姿から上向き、回復傾向である「飛躍」「向上」「成長」を象徴する意味があります。卯（兎ウサギ）をもじった四字熟語に「鳶目兎耳」が出てきます。目と耳、加齢により機能の衰えが気になりますが、ウサギ年に今一度鳶（トンビ）の遠くまで見通す眼通力と些細な音も聞き漏らさない兎の大きな耳を駆使し、「飛躍」「向上」に向けた確かな情報を収集する能力を堅持したいものです。

2023年は価値観や生き方が一新される「地の時代から風の時代への切り替わり」の年といわれます。「地の時代」は、お金・学力・肩書・資格などの目に見えるものに価値を求めてきた時代です。「風の時代」は何か縛られることなく自由に、それぞれがやりたいことを実現しながら生きていく時代をいい、個人の自由と権利・平等性が強く求められる時代です。時代の変化を感じ取って柔軟に対応できる人ほど良い運気に恵まれるといわれます。2023年を境に昔からの古い価値観が見直され、徐々に新しい価値観に切り替わり、考えだけでなく、社会の仕組みも一新される可能性があります。2023年のウサギ年は、今までの数年間から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年になってほしいものです。